

JCOG1809:大弯に浸潤する胃上部進行胃癌に対する腹腔鏡下脾温存脾門郭清の安全性に関する 第II相試験

1. 研究の対象

2022年8月～2025年8月に栃木県立がんセンターで胃がんの治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

。大弯側に浸潤する肉眼的進達度 MP-SE の胃上部進行胃癌を対象に、脾臓を温存しながら脾門リンパ節を予防的に切除する「腹腔鏡下/ロボット支援胃全摘+脾温存脾門郭清」の安全性を確認する。

研究実施期間：2019年6月11日～2028年6月11日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、生存期間病歴、治療歴、副作用等の発生状況、

試料：血液、手術で摘出した組織等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

日本臨床腫瘍研究グループ公式 <http://www.jcog.jp/index.htm>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

栃木県立がんセンター 食道胃外科 松下 尚之

栃木県宇都宮市陽南 4-9-13

栃木県立がんセンター 代表電話 028-685-5151

研究責任者：

栃木県立がんセンター 食道胃外科 松下 尚之

研究代表者：

※全ての共同研究機関を代表する 1 つの研究機関の名称及びその機関に所属する研究責任者の氏名を記載して下さい。

研究代表者/研究事務局：木下 _敬弘_

国立がん研究センター東病院 _胃外科_